

特集

ご存じですか？ 産婦人科領域で 話題の薬物療法

企画者のことば

桑原慶充*

高度情報化した現代社会において、テレビ、新聞、本、インターネットなどのメディアを通じて、様々な分野の専門的情報を得ることが可能である。そのため、患者が自分の病気について、医療機関以外から詳細な知識を得た上で受診するケースも多い。一方で、膨大な数の情報のなかから、信頼できるものを抽出して判断する作業は容易ではなく、患者のなかで逆に混乱を生じている場合も少なくない。話題の治療についてはメディアで取り上げられる機会が多く、患者にとって最も興味のある情報であることから、専門家としての見解や説明をしばしば求められる。

一方で産婦人科学領域は、周産期、腫瘍、生殖、女性医学に細分化され、産婦人科医は自身の専門分野に特化していく一方で、それ以外の情報については疎くなっている現状が否めな

い。患者から見れば、皆同じ産婦人科を専門とする医師であり、納得のいく説明がなされない場合は、早々と信頼関係を損なう可能性もある。このような理由からも、話題の治療については折に触れてアップデートしておきたいものである。

本特集では、産婦人科領域で最近話題となっている薬物療法について、各分野のスペシャリストに紹介していただいた。すでに保険収載されているものや、まだ研究段階で治療法として確立していないもの、わが国では未承認の薬剤などが含まれている。その背景も、分子生物学や免疫学の新知見に基づくものや、時代潮流に呼応したものなど様々である。是非一読していただき、産婦人科分野の最新トピックスに触れ、日常診療にもお役立ていただければ幸甚である。

*Yoshimitsu Kuwabara 日本医科大学産婦人科